新潟県小学校教育研究会　郡市研究部レポート　上越市

１　上越市学校教育研究会教育課程部会の取組

上越市学校教育研究会では平成２１年度に教育課程部会を設け、学習指導要領改訂移行期における教育課程編成の研究を始めた。教育課程部会では各学校が、上越市教育委員会が導入した上越カリキュラムの活用を図り、学習指導要領の趣旨を実現し、特色ある教育課程を編成していくための資料提供やモデルとなる学校の実践に学ぶ機会を設けてきた。

【過去３年間の研究テーマ】

年度	研究テーマ及び研究内容
２１年度	○新学習指導要領の完全実施を見据えた教育課程の編成と実施 ○各学校の現状や課題を共有し、具体的な取組に学ぶ
２２年度	○上越市がすすめている「視覚的カリキュラム表」を活用した教育課程編成 ○教育課題や重点目標からカリキュラム編成へのつながりについて
２３年度	○新学習指導要領の趣旨を実現する教育課程の編成・実施・評価・改善 ○特色ある学校を創り出す教育課程の編成と教職員の関わり

２　平成２３年度の取組

平成２３年度は、各学校がこれまで編成・実施してきた自校の教育課程を見直し、学習指導要領の趣旨の実現、特色ある学校づくりの観点から、評価・改善をすすめていくために、教職員（特にミドルリーダー）はどう関わればよいのかについて研修を深めた。

(1) 実践発表１…牧小学校「地域とともに歩む学校を目指して」

- 「つながり」と「本気」をキーワードにカリキュラムを編成
- 学習活動の中核に、生活科・総合的な学習の時間を据える。
- ２学期最終日に教務から次年度の教育計画作成計画を提示
- ３学期にミドルリーダーに働きかけ、全体で教育計画を作成
- 地域指導者を学校応援団として組織化
- 学校評議員にPTA会長及び学年部長が入る。

(2) 実践発表２…雄志中学校「キャリア教育を教育課程の中核に」

- キャリア教育について全職員が理解するための校内研修の充実
- キャリア教育の視点で教育内容を見直し、活動の工夫・改善
- グランドデザインへのキャリア教育の位置付け
- 中学区独自の５つの能力、１０の能力・態度を育てる実践
- キャリア教育の視点での評価活動の実施
- キャリア教育の啓発活動の充実

(3) 講演：上越教育大学　安藤知子准教授

「特色ある学校を創り出す教育課程の編成と教職員のかかわり」

<授業>＝個業であり、教材の教え方を職人技で高めていくこと

<カリキュラム>＝協業であり、チーム力で顧客の満足を高めること

<学習する組織づくりとミドルリーダーの役割>

①学校全体の統一されたビジョンへとチームの職員を導くこと

②多忙な現場の中で、コミュニケーション（対話）の時間を生み出すこと

- ミドルリーダーにより、相互理解のできる関係を、協働関係へと高める。
- トップリーダーの権限を活用して、「研修」や「諸会議」を対話の時間として活用する。